

四国のまほろば 美馬市文化財マップ



美馬市の文化遺産を活かした
地域活性化実行委員会



このパンフレットは、平成26年度文化芸術振興費補助金（文化遺産を活かした地域活性化事業）を利用して作製しました。

6 西教寺



寺伝では、慶長14(1609)年に創建された淨土真宗寺。本堂・山門・経蔵は、国登録有形文化財であり、なかでも山門は飛檐垂木を板軒とし、そこに彫刻された雲形の意匠が特徴的である。「寺町」を構成する寺院の一つである。

7 徳島県指定史跡 滝の宮経塚



鍋倉谷川左岸、標高約130mの丘陵尖端にある鎌倉時代初期と推定される経塚。昭和27年と31年に発掘され、銅製経筒など(徳島県指定有形文化財)が出土、美馬郷土博物館で保管・展示されている。

8 国登録有形文化財 鎌村家住宅



建物は、江戸時代末期から明治時代にかけて建てられた。約1200m²の敷地内に主屋や蔵などが配され、建物の各所には、武家屋敷の特徴が散見される。

9 国登録有形文化財 青木家住宅



藍の生産を行った農家で、近代に建設業で栄えた青木家が、大正4年に隠居用として建築。約3590m²の敷地内に、主屋・納屋・土蔵などが建ち並ぶ。主屋は入母屋造り、大屋根の四方に庇をつけ、壁は鼠漆喰仕上げの堂々とした建物。

10 美馬市指定史跡 重清城跡



美馬市西部、吉野川北岸の河岸段丘上にある中世山城。建物や石垣などは見られないが、二重の堀と土塁が、往時の姿をとどめている。築城年代は不明。

11 美馬市指定天然記念物 荒川衝上



7千万年前の和泉層群の上昇により、3万4千年前の扇状地礫層の上に、和泉層群が押し被せたように乗っている。このクヌキには火歴が得意な狸(楠藤兵衛)が住んでいたといふ伝承があり、根元にある小さな社に、この狸が祀られている。

1 国指定史跡 段の塚穴



段の塚穴は、古墳時代後期に築かれた二基の古墳の総称である。東側が太鼓塚古墳、西側が棚塚といふ。石室の規模や特異な構造から、四国の古墳時代史上で欠かせない重要な古墳。奥壁にこの名称の由来となる石棚がある。昭和17年に徳島県初の国史跡に指定された。

2 国指定史跡 郡里廃寺跡



奈良時代に建立された県内最古期の寺院跡。発掘調査より、現在、塔跡と金堂跡が確認されている。また、塔跡の近くに、幹回り約12m、樹齢約800年の中山路のイチョウが植わっている。このイチョウは雌株で、秋には大量の実をつける。

4 願勝寺



真言宗寺院。古くは平安時代後期の記録に、願勝寺の名が確認できる。山門は国登録有形文化財(明治時代建築、三間一戸八脚門)、庭園が徳島県の名勝(室町時代築造、県内最古期の庭園)に指定。

5 安楽寺



寺伝では、平安時代創建、正元(1259)年に名を安楽寺、宗派を浄土真宗に改めた。四国では最古の浄土真宗寺院。朱塗りの山門が特徴で、「赤門寺」の名で親しまれている。

12 美馬市指定有形文化財 藤若家住宅



讃岐山脈南麓に建っている、寄棟造り茅葺きの民家。屋根は現在鉄板で覆われている。棟札が残されており、元禄13年(1700)年の建築である。

13 徳島県指定史跡 野村八幡古墳



吉野川の河岸段丘の先端部、野村八幡神社境内に造られた、直径約25m、高さ約5mの円墳。石室は、両袖式横穴式石室で、南に開口している。この古墳からの出土品は散逸しているため、詳細は不明である。

14 美馬市指定有形文化財 小星大師堂



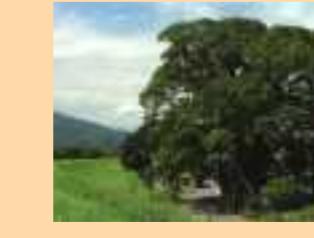
方三間の宝形造りのお堂。1本のケヤキから、柱・戸板・欄間などが造られていること、木鼻などに見られる彫刻に特徴がある。建築年代は、棟札が発見されていないため不明。

15 美馬市指定史跡 国中古墳



標高75mの河岸段丘南端の丘陵上に造られた、直径約12m、高さ約4mの円墳。南東に開口する横穴式石室を持つ。時期は6世紀後半と思われる。

16 徳島県指定天然記念物 別所の大クス



脇町別所の吉野川堤防沿いに、幹回り約9.8m、樹齢850年とも言われる雄大なクスノキが植わっている。このクスノキには火歴が得意な狸(楠藤兵衛)が住んでいたといふ伝承があり、根元にある小さな社に、この狸が祀られている。

17 美馬市指定史跡 拝中古墳



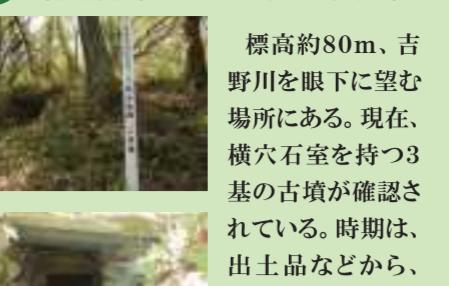
標高45m、曾江谷川の体積作用による扇状地上に造られた、直径約15m、高さ約5mの円墳。石室は、両袖式横穴式石室で、南に開口している。時期は6世紀後半から6世紀末と思われる。

18 美馬市指定史跡 拝東古墳



直径約15m、高さ約5mの円墳。石室は、左右に張り出した両袖式横穴式石室で、南に開口している。時期は6世紀後半から6世紀末と思われる。

19 美馬市指定史跡 三島古墳群



標高約80m、吉野川を眼下に望む場所にある。現在、横穴石室を持つ3基の古墳が確認されている。時期は、出土品などから、いずれも6世紀後半から7世紀前半と思われる。

23 国指定重要文化財 旧長岡家住宅



もとは脇町字西大谷地区の山の中腹に建っていたが、昭和54年に現在地へ解体移築された。寄棟造り茅葺き、外壁は土壁で、雨が少ない讃岐地方の民家の特徴が見られる。棟札が残されており、享保20(1735)年に建てられたことが確認された。

24 国登録有形文化財 旅館たおか



「うだつの町並み」の北側、中町の通りに所在。もとは呉服商の別邸として明治時代初めに建てられた。大正時代末以降旅館を開業し、現在も主屋は旅館、蔵屋は小料理屋として使用している。

26 国登録有形文化財 大谷川堰堤



日本での砂防や、治山の事業の基礎を作ったオランダ人土木技術者ヨハニス・デ・レイケが設計した砂防堰堤(砂防ダム)。明治20年ごろに築造された。

27 東林寺



寺伝では、大永2(1522)年に創建された浄土宗寺院。山門(一間一戸、二階建てで階上に梵鐘がある鐘楼門)と庭園(室町時代末の築造と推定される枯山水の庭園)が、美馬市の文化財に指定されている。

35 国指定重要文化財 三木家住宅



三木山の頂上近くに建つ民家。寄棟造り茅葺きで、三面に鉄板葺きの小さな庇が付く。桁行22.2m、梁間9.3mで、民家としては大規模なもの。棟札は朽腐して判読できないが、建物の特徴などから、徳島県内で最も古い、江戸時代初期の建築と思われる。

36 徳島県指定天然記念物 川井のエドヒガン



美馬市木屋平交流センター「つるぎの湯大桜」の西側斜面の下に植わっている。幹回り約5.5m、樹齢500~600年の老樹。毎年多くの花をつけ、「大ザクラ」として親しまれている。

37 徳島県指定天然記念物 川井のヒイラギ

幹回り約3.2m、樹齢200~300年と推定。ヒイラギの若木の葉には、鋸いギザギザがあるが、老木になると棘はない。このヒイラギにも棘がない葉が豊かに茂っている。

39 徳島県指定天然記念物 剣山並びに亜寒帯植物群



標高1955mと、西日本第二の高さを誇る、山岳信仰の山として栄えた靈峰。標高が高い地点では、気温が低いため、キレンゲショウマをはじめ、平地では見られない亜寒帯の植物が生育している。